



まんぶくニュース

21・老福連 第22回 職員研究交流集会in大阪 実行委員会
〒564-0027 吹田市朝日町5番29号AP吹田ビル2F 社会福祉法人こばと会
発行責任者 実行委員長 正森 克也

～全体会からのお知らせ～

研修プログラム決定！！

●オープニングはお楽しみに！！

●リレートーク

「介護保険の25年と21・老福連のあゆみ」

登壇者 正森 克也（こばと会 21・老福連代表幹事）
藤田 隼平（七野会 21・老福連事務局）

●特別講演

「ケアとは何か

～より良い『支援』のために～」

大阪大学 人間科学研究科教授

感染症総合教育研究拠点CiDER兼任教員

村上靖彦氏

リレートーク

『介護保険の25年と21・老福連のあゆみ』

登壇者 正森 克也（こばと会 21・老福連 代表幹事）
藤田 隼平（七野会 21・老福連 事務局）

介護保険制度ができて4半世紀になろうとしています。

「介護の社会化」をめざした介護保険制度でしたが、その目的は達成されたのでしょうか？

【増え続ける負担】

3年毎の改定の度に、「介護保険制度の持続可能性」がことさら強調され、保険料は当初の2倍を超え、利用料も一部2倍、3倍になる方が増え、食費も居住費も別料金となり、減免制度も厳格化されました。

【減らされるサービス】

受けられるサービスは増えたのでしょうか？特別養護老人ホームは要介護1以上の方が入れるものでしたが、原則要介護3からになり、要支援1・2の生活援助、通所介護は保険給付から外され、自治体が行う事業の扱いにされてしまいました。

【悪化する職員処遇】

職員の処遇はどうでしょう？介護で働く職員の年収は、全産業と比較して年間120万円も低いことが社会問題となりました。処遇改善加算等を繰り返していますが、未だに改善されていません。

【年々厳しくなる経営】

事業所経営はどうでしょう？事業所の報酬単価は、2000年の制度開始時の介護報酬に追いついていません。

改めて、介護保険の25年と21・老福連のあゆみを振り返ってみましょう。

特別講演

講師 村上 靖彦氏 紹介

大阪大学 人間科学研究科教授

感染症総合教育研究拠点CiDER 兼任教員

- 村上氏は「ケア」をテーマにした研究をされており、対人援助職へのインタビューの分析を通じて、豊かな実践の諸相を明らかにしようとされています。
- インタビューを通じて見えてきた、「ケアとは何か」のいくつかのエッセンスについてお話いただきます。
- 著書の中で「ケアとは生きる事を肯定する」営みだと綴っています。日々、皆さまがケアの現場で実践されている「生きることを肯定し、支える」営みを振り返り、あらためて「ケア」について考え、明日からも豊かな援助実践に繋げる機会になればと思います。

2000年 パリ第7大学で博士号取得

(基礎精神病理学・精神分析博士)

～著書～

「ケアとは何か 看護・福祉で大事な事」 中公新書、2021

「『ヤングケアラー』とは誰か 家族を"気づかう"子供たちの孤立」

朝日選書、2022

「客観性の落とし穴」 ちくまプリマー新書、2023

みんなも1回
読んで見て～
みんなの『ケア』
ってなんやろ？
大坂で語り合おう！

ほか多数

絶対に参加してや〜交流会!

担当からのお誘いとお願い

Q:交流会はいつあるの?

集会の1日目(12月7日 土曜日)
プログラムの最後18時30分からスタートです!



Q:交流会はどこで開催されるの?

「ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター」です!
全大会の会場と交流会の会場が「同じ」なのは珍しいパターン。
「移動」がない分、ゆとりを持って交流会に参加できます!
宿泊ではない方も、開始までの時間に周辺散策はいかがでしょう?

Q:交流会の参加費は?

10,000円になります! 高いですが、「特別講演が終わったら帰る…」というのは、あまりにももったいない!
研修プログラム1日目は、全大会 → 交流会 と全て参加してこそ、「ととのう」のです。参加のご検討をお願いします!

参加ご予約の施設様へお願い

事前の写真提供にご協力をお願いいたします。
交流会で上映する、見て「まんぷく!」になる写真をお送りください。
コロナ禍、できなかったけど、少しずつでも「できた!」そんな喜びが伝わる写真、そしてコメントをお願いします。



送付先: fujita@nananokai.com 七野会:藤田まで